

## 北海道大学を世界的アーティスト テオ・ヤンセン氏が訪問

～サイエンス・カフェ札幌「北海道大学が紐解くテオ・ヤンセンの世界」を開催～

### 【概要】

北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター 科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP) では、芸術と科学が融合した作品を創造し、発信し続ける世界的アーティストであるテオ・ヤンセン氏をゲストに招き、サイエンス・カフェ札幌を開催します。

前半は、オランダの浜辺に類似点がある石狩浜で生態系の研究している農学研究院基盤研究部門生物資源科学分野の松島 肇講師を招き、テオ・ヤンセン氏の創作の原点になったオランダの環境問題及び北海道の自然との共通点に迫ります。後半では、テオ・ヤンセン氏の作品をテーマにしたワークショップに参加した北大生や来場者から質問を受けながら、同氏の作品について深く掘り下げます。

なお、本企画は、札幌芸術の森美術館で開催される「テオ・ヤンセン展」(2019年7月13日～9月1日)と連動して実施します。

**【タイトル】**第107回 サイエンス・カフェ札幌 特別編「北海道大学が紐解くテオ・ヤンセンの世界」

**【WEB】**<https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/costep/contents/article/1985/>

**【日程】**2019年7月16日(火) 18:30～20:30 (開場 18:00)

**【ゲスト】**テオ・ヤンセン (アーティスト)

**【パネリスト】**松島 肇 (北海道大学農学研究院基盤研究部門生物資源科学分野 講師)

**【聞き手】**朴 炫貞 (CoSTEP 特任助教)

**【入場料】**無料

**【申込方法】**事前申込制 (7月7日(日)締切) \*詳細はウェブサイトにて公表

**【場所】**北海道大学工学部フロンティア応用科学研究棟 2F レクチャーホール (鈴木章ホール)  
北海道札幌市北区北13条西8丁目  
JR札幌駅北口から徒歩約7分、地下鉄南北線北12条駅から徒歩約7分

**【主催】**北海道大学 CoSTEP / 大学力強化推進本部

**【協力】**札幌芸術の森美術館 / 北海道大学 TERRACE

### お問い合わせ先

北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター 科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP) 准教授 奥本素子 (おくもともとこ)

T E L 011-706-5320 F A X 011-706-5320 メール okumoto@open-ed.hokudai.ac.jp

### 配信元

北海道大学総務企画部広報課 (〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目)

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimuhokudai.ac.jp

第107回 サイエンス・カフェ札幌 特別編

# 北海道大学が紐解く 「テオ・ヤンセン」の世界

THEO JANSSEN

2019

# 7.16

開場 18:00

火

18:30-20:30

ゲスト テオ・ヤンセンさん | アーティスト

パネル 松島 肇さん | 北海道大学 農学研究院 基盤研究部門 生物資源科学分野 講師

聞き手 朴 炫貞 | 北海道大学 CoSTEP 特任助教

Unfold the universe of Theo Jansen  
at Hokkaido University

Guest Theo Jansen artist

Panel Hajime Matsushima lecturer of Hokkaido Univ

Presenter Hyunjung Park assistant prof. of CoSTEP

Lecture hall 2F, Frontier Research

in Applied Sciences Building, Hokkaido Univ.

《ハイトニック・ゼンガム・ヘンダー》(2006年) ©Theo Jansen



北海道大学 工学部フロンティア応用科学研究棟  
2F レクチャーホール [ 鈴木章ホール ]

北海道札幌市北区北13条西8丁目 | JR札幌駅北口から徒歩約7分、北12条駅(地下鉄南北線)から徒歩約7分

主催 北海道大学 CoSTEP / 大学力強化推進本部  
協力 札幌芸術の森美術館 / 北海道大学 TERRACE



テオ・ヤンセンさん  
Theo Jansen

1948年、オランダ、スフェベニンゲンに生まれる。デルフト工科大学にて物理学を専攻後、画家に転向。1986年から新聞のコラムを執筆し、その中の一記事「砂浜の放浪者」をきっかけに「ストランドビースト」を生み出す。「現代のレオナルド・ダ・ヴィンチ」と称され、芸術と科学の融合した作品を発信し続けている。

《トランス・プラットフォーム》2013年 ©Theo Jansen



松島 肇さん  
まつしま・はじめ

北海道大学 大学院農学研究院  
花卉・緑地計画学研究室 講師  
全国的にも貴重な自然砂浜である石狩浜をフィールドのひとつに、海岸砂丘系の保全・復元・利用・防災を専門にNPOとも連携して研究している。

風を受け、なめらかに砂浜を疾走する巨大な物体。オランダのアーティスト、テオ・ヤンセンさんが、プラスチックチューブを組み合わせて生み出した「ストランドビースト（砂浜の生命体）」は、武骨な見た目とは裏腹に、生きているかのような繊細な生命感を私たちに想起させます。

2019年7月13日～9月1日にかけて、札幌芸術の森美術館では「テオ・ヤンセン展」が開催されます。オランダの砂浜でしか生きることのできない宿命を背負ったストランドビーストを、生物の仕組みや、環境との相互作用について研究している北大の研究者や学生はどう読み解くのでしょうか。本カフェでは、まず石狩浜の生態系を研究している松島肇さんと共に、ヤンセンさんの環境と生命へのまなざしに迫っていきます。後半はストランドビーストをテーマにしたワークショップを実施した北大生や来場者の皆さんからあがった質問を元に、ヤンセンさんの作品について深く掘り下げていきます。

本カフェは札幌芸術の森美術館の

「テオ・ヤンセン展」との連動企画です。

会期 2019年7月13日/土～9月1日/日  
51日間、会期中無休  
9:45～17:30（入場は17:00まで）

会場 札幌芸術の森美術館  
札幌市南区芸術の森2丁目75番地 / Tel.011-591-0090

主催 札幌芸術の森美術館（札幌市芸術文化財団）、  
北海道新聞社、HTB 北海道テレビ、  
HTB プロモーション

後援 北海道、札幌市、札幌市教育委員会

企画協力 Media Force、学研プラス

協力 北海道大学 CoSTEP

- 北大の学生がテオ・ヤンセンの作品を解釈し、その生命観・環境観を表現するワークショップ「繁殖するビースト Strand of lives」の展示が同時に行われます。16:00～18:30 | カフェ会場のロビーホワイエ

次のイベントのお知らせ

第108回サイエンス・カフェ札幌

日時 2019年8月4日 日 14:30～16:00

場所 紀伊國屋書店インナーガーデン

ゲスト 野中 成晃さん 北海道大学 大学院 獣医学研究院 教授

テーマ 寄生虫、都市、野生動物

CoSTEPは科学技術の専門家と市民の橋渡しをする人材を育てる教育組織です。

問い合わせ | costep\_office@ml.hokudai.ac.jp | tel & fax 011-706-5320

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 北海道大学 高等教育推進機構 N163A 室

<https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp>

詳細はウェブをチェック



find us

